

## 第2回教員等資質向上に関する連携協議会 意見概要

日時:11月14日(火)14:00~15:30 会場:議会第3会議室

### 1 新潟県教員等育成指標について

#### (1) 表紙

- 表紙の上部に、指標策定の背景・課題に触れるような3, 4行のリード文があるとよい。
- 「新潟県の教員に求められる資質・能力」の絵図の、「学び続ける教員像」は「学び続ける教員」にした方がよい。
- 絵図が新潟県の明るい未来を象徴するようでよい。

#### (2) 共通指標

- 「児童生徒理解、多様性理解」の第3期が漠然としていて内容が薄い。「協調的な学校風土」や「チーム学校」という意味で修飾するとよい。
- 「授業実践」の第1期の「身に付ける授業」は「身に付けることのできる授業」にした方がよい。
- 「特別支援教育」の第2期の「個別の教育支援計画」は「個別の指導計画」にした方がよい。
- 「特別支援教育」の第2期には、何の評価・改善をするのかを明記すべき。
- 「生徒指導」の「特にミドルリーダーにもとめるもの」欄にある「関係機関との連携」は大事な視点である。
- 「特別支援教育」の第3期の「連携・活用」は「関係機関との連携や活用」にすべき。
- 小中高の連携的な視点をどこかで触れるとよい。

#### (3) 校長指標

- 「勤務環境の管理」の中に、多忙化解消のため、勤務管理の適正管理、勤務時間の適切な管理という視点を入れるべき。
- 「人間性・識見」の中に「学び続ける」校長の姿勢を入れるべき。

### 2 今後のスケジュール及び来年度以降の協議会について

- 研修計画に積極的に教職大学院が関わり参画する機会がほしい。
- 多忙化解消のため、免許状更新講習などで県と大学のタイアップが必要。
- 教育センターの研修と校内研修とのマッチングを考えるべき。従来の研修スタイルではなく、OJT等校内研修について、学校現場と教育センターとですり合わせていく必要があるのではないかと。
- 指標を学校現場で機能させるため、参考になるようなOJT等校内研修の方法を提示すべき。
- 教員が学び続ける上で、県が作成する教員研修計画が全ての研修という形にするのではなく、サークル活動で学ぶなど、余裕の部分も残すよう配慮してほしい。